

これまでの5年、これからの5年
—レファ協とともに—



実践報告(1) 埼玉県立久喜図書館
伊藤 仁

埼玉県立久喜図書館 報告

目次

- 1 県立図書館の状況とレファ協への参加
- 2 参加してから現在までの経緯
- 3 レファレンス事例集作成の体制
- 4 コメント等の有効(友好)事例など
- 5 企画に参加すること
- 6 今後の課題
- 7 レファ協への期待



埼玉県のマスコット コバトン

1 県立図書館の状況とレファ協への参加

平成5年(1993)
「参考調査事例集」(レファレンス事例集)の作成を開始
平成15年(2003)
3月 県立図書館コンピュータシステム稼働
4月 4館体制から3館体制へ移行 浦和・熊谷・久喜
組織改正 グループ・担当制へ移行
10月 約一か月の休館後リニューアル・オープン
分担別専門館体制へ 資料の再編と移管
平成16年(2004)
3月 レファレンス協同データベース実験事業へ参加
平成17年(2005)
2月 レファレンス事例集のデータをレファ協へ登録
4月 レファレンス協同データベースの正式運営開始
12月 事例データを一般公開



2 参加してから現在までの経緯

◇新規データ登録数の推移(平成21年度は11月分まで)

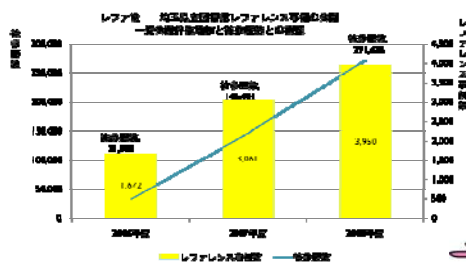
館名	2004(H16)	2005(H17)	2006(H18)	2007(H19)	2008(H20)	2009(H21)
県立浦和	64	6	230	189	103	91
県立熊谷	51	66	114	123	126	126
県立久喜	109	69	83	72	85	71
合計	224	141	427	384	314	287

◇平成21年度の新規データ登録数(11月分まで)

館	新規データ 各館別件数											小計	合計
	1月	3月	5月	7月	9月	11月	1月	3月					
埼玉資料	10	15	4	5	17	16						67	91
浦和 社会科学	2		6	7	6	3							
小計	12	15	10	12	23	19						91	
熊谷 人文科学	37	31	7	20	18	12						125	125
自然・技術	1	2	3	4	7	6						23	71
久喜 芸術・文学	3		4	6	7	5						23	
情報・地域	2		8	6	4	3						25	
小計	6	2	15	16	18	14	0	0	0	0	0	71	
合計	55	48	32	48	59	45	0	0	0	0	0	287	287

◇選及更新作業 参加館公開データの一般公開化
2005年に登録した参加館公開レベルのデータを選及更新し、
新規登録データと合わせた一般公開件数の増加に努める。
平成18(2006)～平成20(2008)年度の3年をかけて実施した。
平成21(2009)年度以降も
更新作業は継続して行く。

年度	事例数	被参照数
2006年度	1,672	31,983
2007年度	3,061	146,491
2008年度	3,950	271,635



埼玉県立図書館Webサイト
レファレンスデータベースのページ

2006年にWebサイトにリンクを設け、埼玉県の事例を閲覧できるようにした。



3 レファレンス事例集作成の体制 埼玉県立図書館3館の各担当で作成

- 浦和図書館
 - 社会科学資料担当 2名
 - 埼玉資料担当 1名
 - 熊谷図書館
 - 人文科学資料担当 2名
 - 久喜図書館
 - 芸術・文学資料担当 1名
 - 自然科学・技術資料担当 2名
 - 情報・地域協力担当 1名
- 計9名

①各カウンターで処理した
回答ファイルから担当が選ぶ。
②国会のワークシートに転記・
編集する。
③久喜情報・地域協力担当へ
提出する。

年6回 5,7,9,11,1,3月に提出し、久喜情報担当がまとめる。
各館職員による校正・編集を経て、事例集を作成する。
最終校正後、レファ協へ登録する。



事例集作成のための原則

「埼玉県立図書館レファレンス事例集入力マニュアル」より
(2005.6作成 2009.2改訂)

採録の基準

以下のいずれかに当てはまる事例につき、入力を行う。

- 1 探索過程において参照資料が二つ以上に及んだ事例
- 2 埼玉県に関する事例
- 3 未解決の事例
- 4 上記1～3に該当しないが、同一の質問が今後寄せられると
思われる事例

その他、レファレンス・サービスに関わる例規など

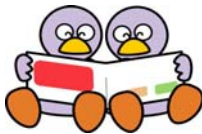
- 「レファレンス業務取扱要領」(1993.4～)
- 「電子メールによるレファレンス業務取扱要領」(2003.4～)
- 「埼玉県立図書館レファレンス事例集の一般公開に関する基準」
(2006.2～)



4 コメント等の有効(友好)事例など

2010年1月28日現在、事例データへのコメント数 272件

- コメントが付与され次第、速やかに備考欄へ反映する。
- コメントによって新情報が付加され、データの質の向上につながる。
- 参加館公開データに付与された場合、原則として一般公開化する。
- コメント以外に、利用者から直接連絡をいただくこともある。
- コメント等の具体例 「参考資料6 事例あれこれ」を参照。



5 企画に参加すること

- 2009年10～11月の「定番事例」企画

《レファ協》企画「定番事例」への登録 2009/10月～11月に国会図書事務局で実施

埼玉県立図書館登録数 147件(2009/12/01現在)	
区分	登録数
定番事例 類似の調査事例 解決・未解決とも	43
定番事例-参考資料-埼玉新聞-解決	23
定番事例-参考資料-新編埼玉県史-解決	54
定番事例-参考資料-埼玉人物事典-解決	17
定番事例-参考資料-熊谷人物事典-解決	10
	147

- 郷土(埼玉資料)に関するレファレンス事例を選択して登録する。
- 解決事例から「県史」「人物事典」など、多用する参考図書を抽出。
- 「定番事例-〇〇-〇〇」と応用して記入する。⇒ 自館の登録データの分析に役立つ。
- 企画のとらえ方 自館で判断し、主体的に参加する。

6 今後の課題

- 更新作業の継続
2005年2月の登録以来、更新未着手の事例データ 約1900件
公開を進めることで《レファ協》利用の公平化につながる。
- 児童サービスなどの事例データの登録
⇒ 一元的なレファレンス事例の集約の必要性
- 都度登録のメリット ⇒ 利用者への還元 他館の方法を見習う点

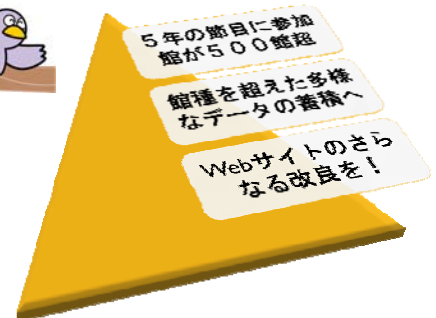


運営体制、職員体制の中で常にサービスのあり方を考え、
レファレンス体制の改善と充実に努める。



7 レファ協への期待

これからの5年、10年目を目指す。







埼玉県と図書館のご紹介

- 人 口 7,173,913人 (2009年12月1日現在) 平均年齢 42.4歳
- 生産年齢人口(15~64歳)割合 69.4パーセントで日本一
- 面 積 約3,800^千m² (日本の国土面積の1/100)

◇埼玉県の全国第1位(産業関係)

ほうれんそう産出額。

アイスクリーム、シャープペンシル、火災報知設備、中華麺、双眼鏡の出荷額など。

◇埼玉県の姉妹友好州省

メキシコ州(メキシコ共和国)、山西省(中華人民共和国)、クイーンズランド州(オーストラリア)、オハイオ州(アメリカ合衆国)、ブランデンブルグ州(ドイツ連邦共和国)

◇平成21年度一般会計当初予算 歳入 1兆6,959億5,100万円

図書館関係

◇平成21年度当初県立図書館予算3館計 134,459(千円) うち資料費 68,214(千円)

◇平成20年度 埼玉県立図書館3館のおもな統計

- ・蔵書数(図書) 1,425,371冊
- ・入館者数 587,868人
- ・利用冊数 308,068冊 (うち児童 145,689冊)
- ・県内図書館等貸出冊数 50,115冊

◇埼玉県立図書館竣工年月

- ・県立浦和図書館 1960.3 昭和35年
- ・県立熊谷図書館 1970.3 昭和45年
- ・県立久喜図書館 1980.6 昭和55年

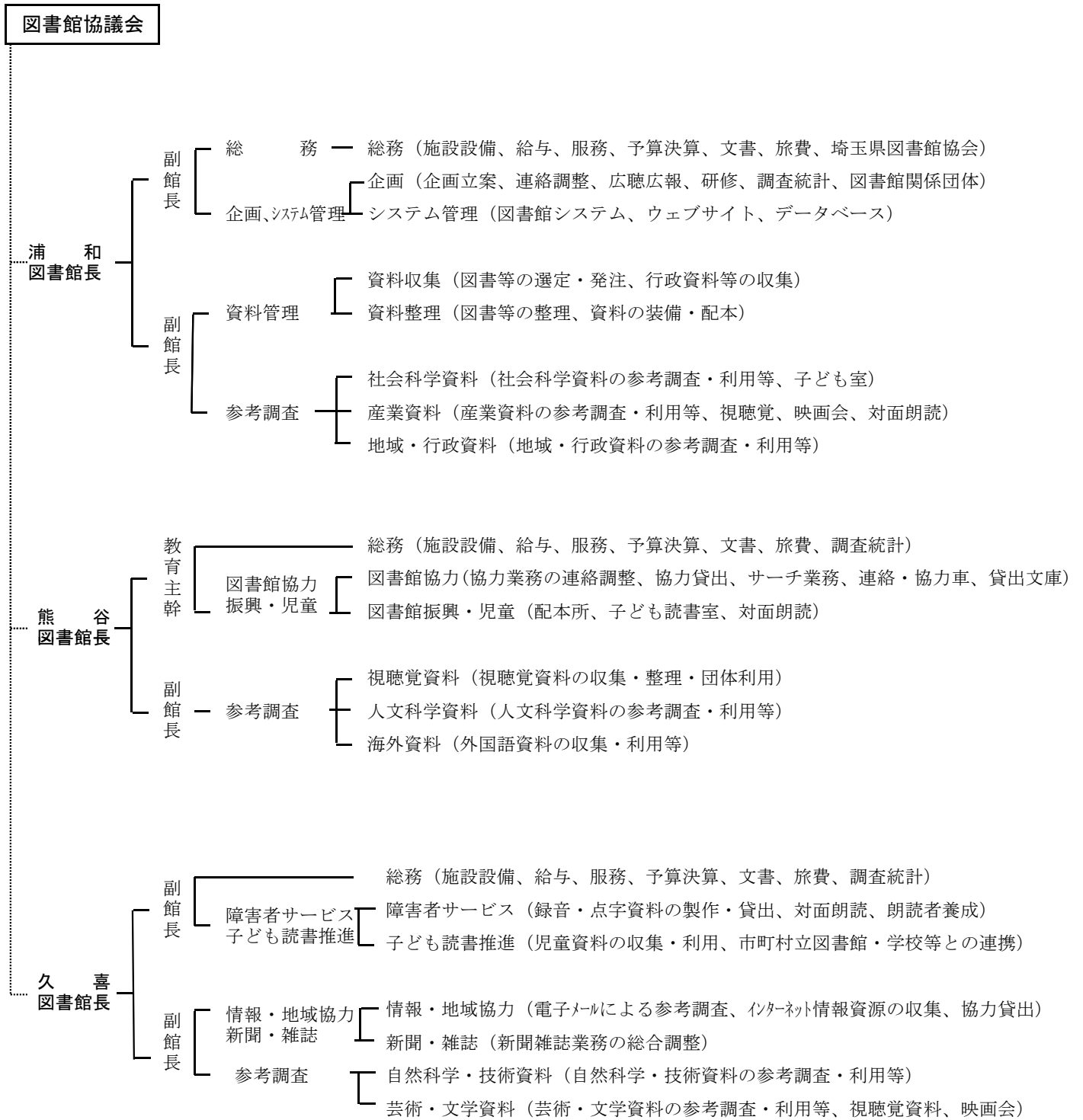
◇市町村 70団体(1政令市 39市 29町 1村)

公共図書館設置率 94% 未設置 5町

埼玉県ホームページ、『埼玉県立図書館要覧 平成21年度』『図書館年鑑2009』より作成

組織・機構

(平成21年4月1日現在)



参加館プロフィール詳細

図書館コード	2110009		
館種	公共図書館(都道府県立・全館)		
図書館名	埼玉県立久喜図書館 / 埼玉県立		
図書館名ヨミ	サイタマケンリツクキトシヨカン		
住所	〒346-8506 埼玉県 久喜市下早見 85-5		
電話番号1	0480-21-2659		
電話番号2			
電話番号3			
FAX番号	0480-21-2791		
E-Mail	kuki-joho@lib.pref.saitama.jp		
URL	http://www.lib.pref.saitama.jp/		
開館情報	<p>【10月から5月まで】 火曜日から金曜日:午前9時から午後7時まで 土曜日・日曜日・国民の祝日:午前9時から午後5時まで。県立浦和図書館は午後7時まで。</p> <p>【6月から9月まで】 火曜日から金曜日:午前9時から午後8時まで 土曜日・日曜日・国民の祝日:午前9時から午後5時まで。県立浦和図書館は午後7時まで。</p> <p>【児童書・16ミリフィルム・貸出文庫・点字・録音資料の利用・対面朗読】 通年 火曜日から日曜日・国民の祝日:午前9時から午後5時まで</p>		
利用条件	資料の個人貸出しは、埼玉県内に在住・在勤・在学の方。		
沿革			
特色	<p>埼玉県立図書館は、浦和・熊谷・久喜の3館が主題別専門館として運営しています。分担分野ごとに資料収集を行い、各館の特色をいかしてレファレンス・サービス(調べ物のお手伝い)を行なっています。</p> <p>レファレンス協同データベースの参加に関しては、久喜図書館情報・地域協力担当が事例データの登録と管理の担当窓口となっています。</p> <p>3館の分担分野 【浦和図書館】 社会科学、産業、地域・行政資料 【熊谷図書館】 哲学・宗教、歴史・地理 【久喜図書館】 自然科学、技術、芸術、言語、文学</p>		
注意事項	<p>お問い合わせは、県立図書館Webサイト(上記のURL参照)の「メールレファレンスの申込み」からお願いします。県立図書館間で資料の移管が行われました(*)ので、記載されている資料の現在の所蔵館については、図書館Webサイトの蔵書検索システム(Web-OPAC)でご確認ください。また、移動図書館車(BM:廃止)の資料は蔵書検索システムに反映されませんのでご注意ください。</p> <p>*埼玉県立図書館では平成14年度に資料の再編整備を行い、分担分野に沿って資料を相互に移管したため、レファレンス・サービスの事例作成館で追跡できないことがあります。</p> <p>現在の資料の所蔵確認は上記のURLから蔵書検索をなさってください。</p>		
交通アクセス	<p>【浦和図書館】 JR浦和駅(京浜東北線・高崎線・宇都宮線) 駅西口から徒歩5分。 【熊谷図書館】 熊谷駅(JR高崎線-大宮から各駅停車で約40分。秩父鉄道) 駅北口から徒歩20分。 【久喜図書館】 久喜駅(JR宇都宮線-大宮駅から宇都宮線で約20分。東武伊勢崎線) 駅西口から徒歩15分。または市内循環バス「市役所前」下車。</p>		
登録日時	2004年03月06日 17時26分	最終更新日時	2010年01月23日 11時11分

閉じる

登録データの統計

《レファレンス協同データベース》埼玉県立図書館登録数の内訳 2010/01/04現在

①内訳 登録数 7252件(一般公開4715件 参加館公開2493件 自館のみ参照44件)

館名	登録数	一般公開	参加館公開	自館のみ参照
県立浦和	2025	1451	563	11
県立熊谷	1707	1164	531	12
県立久喜	2079	1391	675	13
県立川越	1441	709	724	8
合計	7252	4715	2493	44
割合%		65	34.4	0.6

*県立川越図書館は2003年(平成15)4月初めに廃館し、県立浦和図書館川越分室となる。そのため登録データは2003年1月作成分が最後。2004年3月末に川越分室は閉室した。

②内訳 解決 未解決

館名	登録数	一般公開	参加館公開	自館のみ参照
県立浦和	2025	1451	563	11
解決	1488	1152	327	9
未解決	537	299	236	2
県立熊谷	1707	1164	531	12
解決	1316	976	329	11
未解決	391	188	202	1
県立久喜	2079	1391	675	13
解決	1577	1151	420	6
未解決	502	240	255	7
県立川越	1441	709	724	8
解決	1027	628	393	6
未解決	414	81	331	2
合計	7252	4715	2493	44
解決	5408	3907	1469	32
未解決	1844	808	1024	12

《レファ協》企画「定番事例」への登録 2009/10月～11月に国会図書事務局で実施

埼玉県立図書館登録数 一般公開 165件(2010/01/28現在)

区分	登録数
定番事例 類似の調査事例 解決・未解決とも	50
定番事例-参考資料-埼玉新聞-解決	23
定番事例-参考資料-新編埼玉県史-解決	60
定番事例-参考資料-埼玉人物事典-解決	21
定番事例-参考資料-熊谷人物事典-解決	11
	165

コメント付与の状況 2010/01/28現在 272件(他の参加館・企画協力員などからいただく)
2009/04/01～ 53件



担当者アンケートー現場の声ー

レファ協事務局から実践報告のお話をいただいた際に、

- ①レファ協で効率化された点と仕事が増えた点など
- ②レファレンス・サービス、レファ協へのデータ登録の体制・苦労話
- ③なぜ継続できているのか

などの視点から報告してほしいとのことでしたので、埼玉県立図書館3館の参考調査事例集作成担当者にアンケートを行いました。上がってきた声を記しておきます。

(2009年12月のレファレンス担当者会でアンケートを配布、2010年1月7日回収。)

①ー1 効率化された点

- ・過去の事例の検索ができる。
- ・ネット上でいつでも、また様々な検索キーで事例を探せる。

①ー2 仕事が増えた点

- ・県立久喜の担当の仕事が増えたのではないかと思う。
- ・書誌事項の確認や一般の人にもわかりやすい記述を工夫するなど、以前(埼玉県立独自で事務用としてデータベースを作成していた時)よりも入力に手間を要するようになった。

②登録の体制・苦労話

- ・資料担当ごとに入力者を決めて入力する体制で行っている。
- ・日々、受付するレファレンスの内容がクイックで対応できるものが減り、調査に時間がかかるものが増加してきているため、回答作業に追われ、過去の事例を整理する時間がほとんどとれない。調査・回答記録者と事例入力者が異なっていると、場合によっては再調査の時間を要している。
- ・レファレンスの記録がそのままレファ協の記録として使えるように調査の経緯がきちんとまとめられているものが少ないので、レファ協のために再調査しなければならないものが多い。
- ・蔵書検索やインターネット検索でどのようなキーワードで検索して得たのかわからない記録も多く、思考の過程が追える調査記録を残すことがベテラン新人も含めて徹底しなければならないことが、レファ協の入力作業を通じて痛感される。

③なぜ継続できているのか

- ・県立久喜情報・地域協力担当で統括・調整しているから。

- ・レファ協 DB の有用性を各職員が認識しているため。
- ・仕事の分掌に組み込まれている。
- ・レファレンス回答は原則としてデータで作成・保存しているため、そのデータを活用することにより省力化ができています。
- ・県立図書館の仕事としてレファレンスは欠かせない業務である。その業務に対して、地道に努力していることを図書館内だけではなくあらゆる人に知ってほしいという思いが職員にあるから、継続できているのではないかと。

その他

- ・日々の業務で1件に1週以上かけて探索し解決したレファレンスが、全国の図書館に共有されるのは大変うれしい。
 - ・専任の司書が何十年も訓練を積んでこのような成果が得られることを広く PR したい。
-

事例あれこれ

*質問文は編集しています。

(1) コメント付与の事例

1 管理番号「埼川-2002-026」

「丁鶴年作と思われる次の詩について、その背景や出典、解釈を知りたい。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000016282>

近畿大学中央図書館さんが詳細な調査情報のコメントをくださいました。これを受けて自館の資料を確認した「灯台もと暗し」の事例です。資料をくまなく調べられなかった並立館体制のデメリットが考えられます。

2 管理番号「埼久-1997-062」

「じゃんけんを使った遊びで「軍艦ゲーム」の始まり、由来について知りたい。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000017108>

香川県立図書館さんから新しい資料を用いた調査情報のコメントをいただき、さらに県内の狭山市立中央図書館さんが同様の質問がありとの情報をくださいました。古い事例ですが、新しい資料によって新たな情報がもたらされ、同様の質問があることがわかります。

3 管理番号「埼久-1997-062」

「手の指の関節の名称および読み方(例:遠位指節間関節=DIP関節)について知りたい。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000019477>

東邦大学医学メディアセンターさんから調査情報のコメントをいただきました。レファレンスブックとWeb情報の両面からサポートしてくださった形です。

4 管理番号「埼川-1996-021」

「東京都大田区馬込地区内にあった「文士村」について知りたい。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000033785>

同じく東邦大学医学メディアセンターさんから2回にわたってご連絡いただきました。Web情報のコメントに加え、関係団体での発表事例として活用してくださった事例です。

5 管理番号「埼川-1994-161」

「安来節の踊りの振り付けが載っている資料を紹介してほしい。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000015260>

大阪市立中央図書館さんから生涯学習情報誌でご紹介くださった旨のコメントをいただきました。広報資料での活用事例と詳細な調査情報を当データに反映いたしました。

(2) 一般の利用者から情報をいただいた事例

6 管理番号「埼川-2000-027」

「北欧に「ラムサ編み」という編み物があるらしいが、どんなものか知りたい。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000016131>

女性誌の特集記事に掲載があるとのことご連絡を頂戴し、当該誌の内容を確認しました。

7 管理番号「埼久-2008-058」

「林芙美子の「花のいのちはみじかくて」という詩の出典と全文を知りたい。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000052572>

《レファ協》では類似の調査事例が他にも見受けられます。指摘をいただいた資料を内容確認し、参考となる記述として備考欄に本文を引用いたしました。

(3) その他

8 管理番号「埼玉-2002-067」

「埼玉県内の、高校のテニスの県大会、インターハイ予選等の記録集があるか。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000017441>

回答が『『スポーツ埼玉』『埼玉新聞縮刷版』に記述あり。これを提供する。』とあるだけで該当年月号や頁数もありません。「参考調査事例集」作成の原則にのっとって登録したと思われる。最小限のレファレンス記録から始めるのも一法かも知れません。

9 管理番号「埼玉-2007-105」

「埼玉県が「日本一」「発祥の地」などが、まとまって掲載されている本が見たい。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000041420>

行政支援サービスで取り扱った事例です。冊子資料での情報がポイントとなっており、新しい情報を付与しながら更新しています。以後も役立つ郷土の事例です。

10 管理番号「埼玉-2005-021」

「太平洋戦争中(回答は戦後)に、配給を拒否して亡くなった裁判官の名前を知りたい。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000023812>

11 管理番号「埼久-2002-067」

「明治36年に華厳の滝で投身自殺した一高生、藤村操の「巖頭の賦」の全文を知りたい。」

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/detail.reference?id=1000029278>

一例として、10と11のような小耳にはさんだことがあるエピソードに関するレファレンスは、一度データをストックしておけば、同様の質問が寄せられた際に活用できるのではないのでしょうか。